

会報
全住協

2024
12月



一般
社団法人

全国住宅産業協会

第53回全国大会を静岡で開催

— 全国から600人以上が集結 —

当協会は、去る11月7日に静岡市のグランディエールブuketーカイにて第53回全国大会を開催した。この大会は、当協会に加盟する全国17団体の会員と企業会員、賛助会員などが一堂に会し、税制改正要望の実現や住宅金融支援機構融資制度の改善などを目指して開催している。今回の大会は、静岡県都市開発協会(以下「静岡県協会」)が幹事協会となり全国大会のほか、記念講演、懇親会、懇親ゴルフ大会、エクスカーション(観光旅行)などを行った。

当日は、馬場会長、開催地協会である静岡県協会 吉田理事長の挨拶に続き、玉原国土交通省不動産・建設経済局次長、鈴木静岡県知事(代読)、吉田静岡市副市長、毛利住宅金融支援機構理事長等から祝辞をいただいた。(馬場会長、吉田理事長の挨拶(抜粋)は下記に掲載。)

次いで、花沢副会長が最近の住宅・不動産業界の諸課題を踏まえて政策提言を行い、これを受けて大会スローガン(3ページに掲載)を盛り込んだ大会決議を静岡県協会 久保田副理事長が読み上げ満場一致で採択した。

また、引き続き、叙勲・褒章等表彰受章者に対する記念品贈呈が行われた。

【馬場会長挨拶(抜粋)】

本日ここ静岡市におきまして、全国住宅産業協会の第53回全国大会を盛大に開催できますことは誠に嬉しい限りです。公務ご多用中にもかかわらず、国会議員、国土交通省、静岡県、静岡市を始めとした関係諸機関、友好団体の皆様等多数のご来賓にご臨席を賜り厚く御礼を申し上げます。



▲馬場会長

今年是世界中が選挙イヤーで政権交代等各国ともに大きな変革が続いております。アメリカの大統領選挙ではトランプ氏の再登板が決まりました。そして、足元では解散総選挙で与党が過半数割れとなりました。こうした世界中に共通する流れの根底には、極端な二極化、中間層の痩せ細り、一部の富裕層とその他の貧困層という国家の分断に対して、庶民の憤りが一気に噴き出したことがあるのではないかと思います。この分断がもたらす社会不安というのは、都市部を中心とした最近の住宅市場にも当てはまりそうです。投機的な資産価値に重きが置かれ、為替と海外相場との関係もあって、新築・流通ともに販売価格が高騰、その結果、「住環境」「安全性」「地域とのコミュニケーション」といった住生活の豊かさに直結する基本的な要素が置き去りにされてしまっています。その結果、実需として今よりは少しでも良い住環境を手に入れたいと願う子育て世代を中心とする中間層には全くの別世界となってしまいました。一刻も早くこの事態の改善に向けて可能な限りの手段をとる

目次

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| ・第53回全国大会を静岡で開催…………… 1 | ・不動産後見アドバイザー資格講習会のご案内… 7 |
| ・静岡地区見学会を開催…………… 5 | ・トピックス(全住協セミナー)…………… 8 |
| ・「第53回全国大会(静岡)」展示コーナー… 6 | ・周知依頼(首都圏不動産公正取引協議会「調査協力のお願ひ」)… 8 |
| ・明海大学企業推薦特別入学試験(B日程)… 6 | ・第14回優良事業表彰受賞プロジェクト紹介(株富士開発)… 9 |
| | ・協会だより…………… 10 |

第53回全国大会

必要があります。また、様々な自然災害リスクを抱えている我が国では、悲惨な事態を日常的に目の当たりにしているにもかかわらず、立地の適正化については、単なる警鐘に止まっております。例えば、過密を解消するための人口密度規制であるとか、ハザードマップ上で明らかに危険であると指定されたエリアからの予防的な移転といった具体的な対応については、残念ながら及び腰にしか映りません。働き盛りの中間層にどうすれば良い住環境を提供することができるのか、これこそが次の住生活基本計画の根幹に置かれるべきであり、人口減少に伴うこれからの社会を見据えた合理的なダウンサイズ、急増する空き家や空地の集約化、産業構造の転換を含めた新たな国土利用とそれに見合う都市計画の見直しこそが重要です。一過性の経済対策や内需喚起のための政策から切り離して、正に国民が満足度を実感できる住宅政策が求められています。

住宅の取得は、投資であって消費ではない。これは欧米各国が消費税を非課税やゼロ税率、あるいは軽減税率を適用する際の根拠とされております。ただし、ここで言う投資とは「人生設計の基盤となる生活拠点を確保したい」という目的のための息の長い投資であり、売買を繰り返すことによって短期的な収益を得ようとする投機的な投資とは根本的に性質が異なっております。幅広い中間層の堅実な資産形成を促すという意味でも今後の住宅税制と住宅金融のあり方について見直しが欠かせません。我々全住協は、誰もが適切な負担で良質な住宅を取得できるよう、あらゆる手段・支援策について政府や国会に働きかけることを第一に心がけて活動を続けてまいります。

ここ数年来、業界を取り巻く環境は楽観を許さない状況にあります。全国各地の地域性にふさわしい個性に溢れる様々な住環境を提供することで社会に貢献することが、我々に課された使命でもあります。会員各位にはさらなる発展を目指して引き続きご尽力をお願いするとともに、

本日ここにおいでいただきましたご来賓の皆様方におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

最後になりますが、設営に当たりまして格別のご尽力をいただきました地元の静岡県都市開発協会の皆様方に心から感謝を申し上げますとともに、ご来賓の皆様方と会員各位のご健勝、ご繁栄を心よりお祈り申し上げまして挨拶といたします。



▲静岡県協会 吉田理事長

【静岡県協会 吉田理事長挨拶（抜粋）】

皆様、本日は全国住宅産業協会全国大会にご参加いただき誠にありがとうございます。特に、ご多忙のところご出席を賜りました来賓・友好団体の皆様、全住協会員事業者の皆様及び全国の団体会員の皆様に心から感謝を申し上げます。北は北海道から南は沖縄まで全国各地から630名の皆様の参加をもって開催できますことは、今大会の幹事を務める静岡県協会としても大変喜ばしく、心から歓迎申し上げます。当協会が幹事協会を務める全国大会は、今回で6回目を迎えます。前回2014年に開催して以来、早10年が経過いたしました。あわせて私共、静岡県協会は今年度で60周年を迎えることができました。これもひとえに協会を支えていただいた皆様方のおかげと感謝を申し上げます。

静岡県で真っ先に思い浮かべることは、世界遺産「富士山」ではないでしょうか。例年ならば10月後半には初冠雪を迎えますが、今年は一昨日の朝に静岡県側では富士山に雪が積もったのは

第53回全国大会

確認されました。今朝になったらそれも消えてしまいましたが、帰りには雪化粧をした富士山をご覧いただければと思っています。

全国大会式典後にパネルディスカッションを開催いたします。先の衆議院議員選挙で当選されました、井林辰憲衆議院議員、細野豪志衆議院議員、また難波喬司静岡市長をパネリストに、明海大学 中城康彦教授にコーディネーターをお願いしております。観光や産業を見据えた街づくり等、皆様のビジネスに大いに役立つのではないかと期待する次第です。

明日の観光旅行は、富士山の風光明媚な姿を見ていただく富士山満喫コースを企画しております。日本平、三保の松原、清水港等を周って最後に富士宮で白糸の滝と浅間大社と、富士山にだんだん近くなっていくのを見ていただく予定です。

また、ゴルフ大会は静岡空港に近い島田カントリーで開催いたします。名匠 藤田欽哉の設計により1965年にオープンした名門クラブで、茶どころ牧の原大地、富士山が見下ろせる絶好のロケーションとなっております。

最後になりますが、中央のご来賓を始め、当地の大勢の来賓にご出席をいただき誠にありがとうございます。幹事協会の静岡県協会の理事長としての歓迎の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

【大会スローガン】

- 一、耐震性の向上や安全な住宅地への立地の誘導等、災害予防策の強力な実施
- 一、住宅ローン減税の継続的实施等、住宅取得への手厚い支援の確実な実施
- 一、消費税を含めた住宅・土地税制についての抜本的な見直し
- 一、フラット35融資制度の拡充、運用の一層の改善
- 一、豊かな住生活の実現に向けた明確な将来ビジョンの策定

式典終了後は、「静岡の街づくりについて」と題し、難波喬司氏(静岡市長)、井林辰憲氏(衆議院議員)、細野豪志氏(衆議院議員)をパネリスト、中城康彦氏(明海大学不動産学部教授・学部長)をコーディネーターに迎え、「静岡県・静岡市の今後の街づくり」「空き家対策」「市街地再開発事業のあり方」「規制緩和の方向性」「助成金・補助金制度のあり方」などをテーマとしたパネルディスカッションが行われた。

その後開かれた懇親会では全国各協会の会員や多数の来賓が参加し、弦楽四重奏、マグロ解体ショーや和太鼓演奏のアトラクションが披露されるなど大いに盛り上がる中、懇親を深めた。当日の参加者は、約630名。



▲全国大会式典



▲記念講演(パネルディスカッション)

式典・記念講演



▲東住協 牧副理事長が開会宣言



▲玉原国土交通省不動産・建設経済局次長



▲池ヶ谷静岡県くらし・環境部部長(代読)



▲吉田静岡市副市長



▲毛利住宅金融支援機構理事長



▲花沢副会長が政策提言



▲静岡県協会 久保田副理事長が大会決議



▲叙勲・褒章・国土交通大臣表彰受章者への記念品贈呈



▲北住都 高山理事長が開会宣言



▲難波静岡市長



▲井林辰憲衆議院議員



▲細野豪志衆議院議員

懇親会



▲中城明海大学不動産学部教授・学部長



▲静岡県協会 渡邊副理事長が開会挨拶



▲静岡県協会 久保田副理事長による乾杯



▲静岡県協会 吉田理事が懇親会中締め



▲アトラクション①(マグロ解体ショー)



▲アトラクション②(和太鼓演奏)

静岡地区見学会を開催

当協会では、全国大会に先立ち、11月6日、7日に「静岡地区見学会」を開催した。

この見学会では、全国大会の参加者を対象として、開催地で不動産関連施設等の見学及び懇親会を行った。

1日目は、再開発が進んでいるJR東海道本線「藤枝」駅徒歩8分のファミリータイプマンション「エンブルクロス藤枝」及びJR東海道本線「静岡」駅徒歩10分でZEH-M Orientedの「サーパス八幡二丁目」のモデルルームを見学した後、懇親会にて各地の状況など情報交換が活発に行われた。

2日目は、建築家・名古屋工業大学大学院准教授の伊藤孝紀氏が自身の研究成果と経験を活かして監修した「老いと向き合う『はしもとの家』」及び昨年改装をして社員の働き方改革を

促した(株)橋本組本社を見学した。

今回の見学会では企業会員を始め秋田県宅協、北信越住協、関住協、近住協、広住協、沖住協の会員71名が参加した。なお、見学先等は次のとおり。

【11月6日】

(1) 見学会

- ①「エンブルクロス藤枝」(ヨシコン(株))
- ②「サーパス八幡二丁目」(株)穴吹工務店

(2) 懇親会

【11月7日】

見学会

「老いと向き合う『はしもとの家』」及び(株)橋本組本社(株)橋本組



「第53回全国大会(静岡)」展示コーナー

当協会では、会員間の交流促進や情報交換を目的とした展示コーナーを設置しており、会員企業が自社の商材やサービスをPRする場として活用されている。この展示コーナーは、単なる製品紹介の場ではなく、会員同士が直接つながる貴重な機会となるほか、出展会員にとっては、自社の強みをアピールし、販路拡大や新たなビジネスチャンスを築くための重要な場となっている。

今回、全国大会に合わせて設置された展示コーナーでは、10社が参加し、自社の商材やサービスを積極的にアピールした。

【出展企業一覧】

アットホーム(株)
 (株)いえらぶGROUP
 (株)建築資料研究社 日建学院
 Co-Growth(株)
 住宅保証機構(株)
 (株)ダイテック
 (株)日本住宅保証検査機構
 (株)ハウスジーマン
 福井コンピュータアーキテクト(株)
 丸美産業(株)



明海大学企業推薦特別入学試験

明海大学企業推薦特別入学試験(B日程)について

当協会は明海大学との「不動産学」の教育・研究に関する協定の一環として例年、総合型選抜(企業推薦)要項に基づき明海大学不動産学部への志願者を推薦している。本年度の企業推薦特別入学試験(B日程)の概要等は以下のとおり。

1. 出願条件

- (1) 明海大学不動産学部不動産学科での勉学を強く希望し、第一志望として入学を志し、合格後の入学を確約できる者。
- (2) 当協会に所属する企業に勤務している者、又は同大学卒業後に会員企業等への就職を希望する者。

2. 試験科目 小論文、面接

※小論文、面接、提出書類等の評価を総合的に判断し、合否を決定する。

3. 入学検定料 30,000円

4. 願書受付期間等

願書受付期間 令和7年2月21日(金)
 ~ 2月28日(金)

試験日 令和7年3月15日(土)

合格発表日 令和7年3月18日(火)

5. 募集人員 20名(A・B日程合計)

6. 資料請求・問合せ

(一社)全国住宅産業協会 事務局
 TEL 03-3511-0611(担当 岩脇)
 明海大学浦安キャンパス入試事務室
 TEL 047-355-5116

不動産後見アドバイザー資格講習会のご案内

組織委員会では、「後見制度と住宅・不動産」について東京大学教育学研究科生涯学習論研究室と共同研究を行っていますが、このたび、下記により標記資格講習会を開催いたします。

1. 開催概要

①集合形式による対面受講(東大会場予定)	
日程	2月4日(火)～2月5日(水)
時間	9:50～17:30
定員	40名 ※定員に達し次第、締切り
②WEBによる生配信(Zoom予定)	
日時	①と同じ
定員	80名 ※定員に達し次第、締切り
③WEBによる録画配信	
日程	2月12日(水)～3月7日(金)
定員	なし

2. 受講対象

- 当協会会員(企業会員、賛助会員、団体会員協会所属会員)
- 会員外(後見制度と住宅・不動産に関心のある一般の方、会員外の住宅・不動産事業者、福祉関連事業者、行政担当者等)

3. 受講料(消費税込み) 20,000円

※クレジットカード決済割引キャンペーン
18,000円

4. 更新 3年

更新料(消費税込み) 会員 4,000円
会員外 5,000円

5. 修了要件

- 講習会2日間の全講義受講
- 録画配信後、別日程にてオンラインで実施する「理解度確認テスト」への合格
※理解度確認テストは、2日間の講義内容・講習テキスト内容等から出題

6. 結果発表

- 全受講者へ「結果通知書」を後日送付
- 合格者には「合格証」を後日送付

7. 主催等

- 主催：(一社)全国住宅産業協会
- 監修：東京大学教育学研究科生涯学習論研究室

「資格紹介動画」掲載中!

高齢者を取り巻く居住の現状・社会情勢、受講者による資格の活用事例等が掲載されています。



8. 講習内容

【1日目】

不動産後見アドバイザー 資格の目的・内容
超高齢社会の現状と展望
法定後見制度の基礎
任意後見制度の基礎
不動産関連業者による相談対応・支援～相続と遺言
不動産関連業者による相談対応・支援～信託とファイナンス
居住支援の現状

【2日目】

要配慮者との不動産取引【解説】
要配慮者に関する法制度
不動産に関する税制
福祉分野からの居住支援
要配慮者との不動産取引【事例】
建築関連法規の解説と実務

※講義内容等について変更となる場合があります。

9. 備考

- 受講料のカード決済が可能。
- 受講料確認後、テキストを事前送付。
- 合格者はフォローアップ研修の無料受講及び後見と不動産について東京大学及び当協会への個別相談が可能。

10. 申込み・問合せ先

(一社)全国住宅産業協会

TEL 03-3511-0611

開催内容の詳細は、下記HPにてご確認ください。

[URL]

<https://www.zenjukyjo.jp/kouken/>

全住協セミナーを開催

10月29日、総務・組織・政策委員会共催で防災及び耐震にフォーカスを当てた、「全住協セミナー」を主婦会館プラザエフ及びオンラインのハイブリッド形式にて開催した。このセミナーは二部構成で、第一部では東京都における建築物の耐震化への取組みを紹介した。第二部では、落語家で防災士でもある林家久蔵氏が、多様化する災害における防災について小咄を交えながら講演を行った。また、各部で質疑応答の時間も設けられ、参加者の関心に応じた具体的な質疑が交わされた。

本セミナーは、耐震化の重要性や、多様化する災害に対応するための防災意識の向上を目的とし参加者にとって有意義な内容が盛り込まれた。

当日は、会場31名、オンライン47名、合計78名が参加した。

【内容】

(1) 開会挨拶

組織委員長 松崎 隆司

(2) 講演

【第一部】

「東京都における建築物の耐震化への取組み」

講師：東京都都市整備局 耐震化推進担当部長
谷井 隆 氏

【第二部】

「多様化する災害における防災について」

講師：落語家・防災士 林家 久蔵 氏

(3) 閉会挨拶

組織副委員長 細川 慶隆



周知依頼

首都圏不動産公正取引協議会への「調査協力をお願い」

当協会が会員となっている(公社)首都圏不動産公正取引協議会(以下「協議会」)は、不動産の表示及び景品提供の制限に関する「公正競争規約」を運用している団体です。協議会は、違反の疑いがある場合、違反事実の裏付けのため、売主、貸主、管理会社及び元付会社等へ聞き取り等の調査を行っていますが、昨今、調査協力を拒否される悪質なケースが増加している現状があります。

公正競争規約を遵守し、適正な広告表示及び景品提供が実施されることにより、一般消費者の不動産業界への信頼や、不動産業界の健全な発展が担保されます。

違反時の調査には該当する事業者の協力が不可欠となりますので、協議会から調査協力依頼があった場合、積極的にご対応いただきますようお願い申し上げます。

優良事業表彰受賞プロジェクト紹介

第14回優良事業表彰受賞プロジェクトを順次ご紹介いたします。

優良事業賞

企画・開発部門

ホテルグランビュ石垣 The First (株)富士開発



【事業コンセプト】

本件事業は、離島におけるホテル建替え案件です。立地は石垣市の繁華街の一角、730記念碑交差点角に位置します。取得から5年後、老朽化による配管や設備等の大規模修繕計画を検討していましたが、旧ホテルの階高不足、構造躯体の一部解体が不可なことから建て替えることを決断しました。同地域に同形態では供給過剰になると判断し、ターゲット客層を別館は若者中心の中低所得層、本件ホテルを高所得層として平成29年から別館用地探しを開始しました。平成30年に本件立地から約2km離れた竹富島、西表島が一望できるダイバー船の拠点である石垣市新川の土地購入。令和元年5月着工、令和2年11月に別館ホテルグランビュ石垣新川を完成オープン。令和3年1月から旧ホテル解体開始。令和4年1月に本件ホテルを着工し、令和5年7月に完成オープンしました。

【商品企画】

石垣島の建築特性として、輸送費や職人派遣代等が高くなるため、工法と資材・器具等は限定されており、さらに猛烈な台風とその後の塩害

対策の必要性があります。限定された資材・器具等の組合せ等によるデザイン力が必要と判断し、名古屋工業大学の伊藤准教授(有限会社タイプ・エービー)にデザイン設計を依頼しました。客室は約16㎡のシングル16室、約27㎡ツイン64室、約37㎡トリプル12室、35㎡ジュニアスイート4室、約28㎡車椅子対応ツイン1室と約22㎡添人用ツインです。

八重山諸島の大自然や独特の風土・文化をモチーフとした空間づくりを目指して、フロアごとに異なる3つのスタイルを計画。1つ目はマングローブやサトウキビ畑等の緑豊かな自然、2つ目は琉球赤瓦やデイゴ、祭事といった華やかな八重山諸島の文化、3つ目は透き通った紺碧の海と抜けるような青空を表現しました。

台風対策として、1階窓に面格子、1階メイン出入口にシャッターや台風時出入口を設置しました。吸気口も最上級の防水性能製品を用い、非常用発電機等の防災対策にも配慮いたしました。

【事業成果】

八重山諸島へ向かう離島ターミナル港に近く、島内一、人が集まる交差点に立地するため、観光の起点のみならず、周辺商店街の活性化の核として期待されています。730記念碑交差点のシンボル緑地は、地元からの要望で全てそのまま残しました。また、明和の津波の経験から様々な災害対策の一つとして、旧ホテル時代から「津波一時避難ビル」に指定され、災害時での拠点としての使命も担っています。

宿泊費は部屋やシーズンによって異なりますが、朝食付きで1人7千円～2万円程度となっており、地元での認知度・立地・設備・価格面において、かなりの優位性があります。

【規模概要】

住 所	沖縄県石垣市登野城1
敷地面積	1,298.38㎡
延床面積	4,140.80㎡
客室面積	16.07～37.23㎡
構造規模	RC造地上10階建
総客室数	98室

協会だより

理事会開催状況

[理事会]

日時 令和6年11月7日(木)16:50~17:20
場所 グランディエールブクトーカイ
議事 第53回全国大会参加申込結果、第15回優良事業表彰の報告、会員の入会承認、令和7年新年賀会の審議を行った。

入会

賛助会員

会社名 アメリカン・エクスプレス
・インターナショナル・
インコーポレイテッド
代表者 伊藤 光一
住所 〒105-6920 東京都港区虎ノ門4-1-1
TEL 03-5408-6310
FAX 03-4560-4380
事業内容 個人及び法人に向けたクレジットカードの発行や加盟店の拡大を世界中に展開。



会社名 (株)iimon
代表者 島田 州平

業務日誌

10月21日(月)	・宮沢洋一参議院議員との住宅政策懇談会に馬場会長ほかが出席。 (大和ハウス工業(株)北関東支社)
24日(木)	・現場作業教育講習を開催。(協会会議室+オンライン) ・会社の未来を創るチェンジリーダー研修を開催。(協会会議室+オンライン) ・組織変革のためのメンバー支援力育成研修を開催。(協会会議室+オンライン)
29日(火)	・全住協セミナーを開催。(主婦会館)
31日(木)	・社会資本整備審議会住宅宅地分科会に馬場会長が出席。(国土交通省) ・(公社)首都圏不動産公正取引協議会理事会に牧山相談役ほかが出席。(オンライン)
11月6日(水)	・静岡地区見学会を開催。(～7日)
7日(木)	・第53回全国大会式典・記念講演・理事会・懇親会を開催。(グランディエールブクトーカイ)
14日(木)	・評価面談考課者研修を開催。(オンライン)
19日(火)	・公正競争規約研修会を開催。(協会会議室+オンライン)
20日(水)	・第117回全住協ゴルフコンペを開催。(小金井カントリー倶楽部)

住所 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町1-2
THE SHORE日本橋茅場町5F



TEL 03-6899-4908
事業内容 不動産業界向けSaaSの速いもんシリーズの開発・運営に注力し、事業展開中。

会社名 住宅特掃(株)
代表者 井村 介之
住所 〒158-0097 東京都世田谷区用賀4-11-14 3F



TEL 03-6413-4771
FAX 03-6413-4737
事業内容 孤独死など不慮による住宅の早期現状回復を化学薬品の効果で解決。

秋の褒章

令和6年秋の褒章の当協会関係の受章者は次のとおりです。

◇肥田 幸春 氏 黄綬褒章
(株)FJネクストホールディングス
代表取締役会長
当協会副会長



会報 全住協 通巻140号 発行 一般社団法人全国住宅産業協会
(令和6年12月10日発行) 編集 一般社団法人全国住宅産業協会事務局

全住協ビジネスショップのご紹介

全住協ビジネスショップは、組織委員会に設置した全住協ビジネスネットワーク(略称「ビジネスネット」)が認定した賛助会員等の取扱商品を、一般向けには行っていない特別価格・サービスにて会員企業向けに提供する仕組みです。既に下記の会員が商品を提供しており、会員の購買におけるメリットとなるとともに、会員間のさらなる交流が生まれています。

商品の詳細は、全住協ホームページの会員専用ページから「全住協ビジネスショップ専用サイト」にてご覧ください。

会員名(順不同)

- ・(株)シーブリッジ
- ・(株)トルネックス
- ・アットホーム(株)
- ・(株)総合資格
- ・(株)東京リーガルマインド(LEC)
- ・(株)リビテックス
- ・(株)ダイテック
- ・プラチナ出版(株)
- ・(株)FRESH ROOM
- ・地盤ネット(株)
- ・(株)建築資料研究社
- ・(株)住宅新報
- ・(株)AXIAL FORCE
- ・グッドモーニングコミュニケーション(株)
- ・(株)リブ・コンサルティング
- ・アークシステムテクノロジーズ(株)
- ・(株)コスモシステム
- ・タウンライフ(株)

取扱商品

- 販売図面制作・CGパース制作
- エマーゼンシートイレキット
- 不動産業務総合支援サイトATBBほか
- 建設業界採用情報誌、各種建築関係試験受験対策講座
- 各種講習、資格取得講座
- 水まわり設備4点セット
- 住宅産業向けクラウド型基幹業務サービス「注文分譲クラウドDX」
- 不動産実用書籍
- オゾン発生器 エアバスター
- BIMパース・ウォークスルー動画制作ほか
- 各種講習、資格取得講座
- 各種講習、書籍
- 「不動産重要書類」ファイルのオリジナルファイル
- 間取り図制作「間取り図屋さん」
- 主催セミナー
- 入居審査(信用照会)
- 不動産鑑定評価
- タウンライフ家づくりほか

※宅建登録(5問免除)講習 (株)東京リーガルマインド(LEC)、(株)住宅新報、アットホーム(株)、(株)総合資格、(株)建築資料研究社

お問い合わせは、協会事務局(TEL 03-3511-0611)まで。

団体会員

一般 社団法人	北海道住宅都市開発協会	〒060-0061	北海道札幌市中央区南1条西10丁目3-2 南1条道銀ビル2F	TEL.011-251-3012 FAX.011-231-5681
一般 社団法人	秋田県住宅地協	〒010-0951	秋田県秋田市山王5-14-1 サントノーレプラザビル1F	TEL.018-866-1301 FAX.018-866-1301
一般 社団法人	東北・北海道住宅産業協会	〒983-0821	宮城県仙台市宮城野区岩切字三所南121-1 大東住宅(株)内	TEL.022-352-7477 FAX.022-352-9209
一般 社団法人	北信越住宅産業協会	〒388-8007	長野県長野市篠ノ井布施高田370-1	TEL.026-293-9125 FAX.026-293-4469
一般 社団法人	富山県住宅地協	〒939-8084	富山県富山市西中野町1-7-27 タカノビル6F	TEL.076-425-2033 FAX.076-413-6033
一般 社団法人	北陸住宅地経営協会	〒910-0023	福井県福井市順化1-21-19	TEL.0776-23-0010 FAX.0776-23-0011
一般 社団法人	静岡県都市開発協会	〒420-0852	静岡県静岡市葵区紺屋町11-6	TEL.054-272-8446 FAX.054-272-8450
一般 社団法人	東海住宅産業協会	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル4F	TEL.052-251-8920 FAX.052-252-0081
一般 社団法人	中京住宅産業協会	〒456-0031	愛知県名古屋市中区熱田区神宮4-7-27 宝18ビル7F	TEL.052-682-5800 FAX.052-683-8686
一般 社団法人	関西住宅産業協会	〒541-0048	大阪府大阪市中央区瓦町4-4-8 6F	TEL.06-4963-3669 FAX.06-4963-3766
一般 社団法人	近畿住宅産業協会	〒541-0057	大阪府大阪市中央区北久宝寺町1-2-1 オーセンティック東船場402号	TEL.06-6263-5503 FAX.06-6263-5550
一般 社団法人	広島県住宅産業協会	〒730-0011	広島県広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビルディング4F	TEL.082-228-9969 FAX.082-209-9955
一般 社団法人	四国住宅地経営協会	〒760-0026	香川県高松市磨屋町6-4 建設会館4F	TEL.087-811-9335 FAX.087-811-9335
一般 社団法人	九州住宅産業協会	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前2-11-16 第2大西ビル6F	TEL.092-472-7419 FAX.092-475-1441
一般 社団法人	九州分譲住宅協会	〒814-0022	福岡県福岡市早良区原5-14-22	TEL.092-821-6441 FAX.092-847-7090
一般 社団法人	鹿児島県住宅産業協会	〒890-0069	鹿児島県鹿児島市南郡元町14-9	TEL.099-285-0101 FAX.099-285-0122
一般 社団法人	沖縄住宅産業協会	〒900-0012	沖縄県那覇市泊2-15-9 2F	TEL.098-863-7410 FAX.098-975-7464

本部事務局

〒102-0083

東京都千代田区麹町5丁目3番地麹町中田ビル8階

TEL. 03-3511-0611

FAX. 03-3511-0616

全住協ホームページ <https://www.zenjukyo.jp/>

一般
社団法人 **全国住宅産業協会**
全住協

